

障害ある患者に性的虐待

国立大牟田病院
看護師ら5人
男女11人被害か

国立病院機構大牟田病院（福岡県大牟田市）で、看護師や介護士の男性職員5人が、身体障害がある入院患者11人に下半身を触るな



国立病院機構大牟田病院
11日、福岡県大牟田市

どの性的虐待をしていた疑いがあることが1日、病院への取材で分かった。これまでに自治体の調査で、うち男女6人の被害を認定。病院は外部専門家をつくる第三者委員会を設置しており、詳しく調べる。

病院によると、昨年12月、患者から「男性介護士から下半身を触られた」と訴えがあった。障害者虐待防止法に基づき、病院から通報を受けた市町村が調査し、これまでに女性4人、男性2人が性的虐待を受けたと認定した。

6人の中には筋肉が衰え

る難病「筋ジストロフィー」の患者も含まれる。女性患者の胸付近を触る行為も確認された。

病院は「深くおわび申し上げる。徹底した対策を講じる」としている。既に患者の家族向けに説明会を開き、謝罪した。2日午後、川崎雅之院長らが記者会見する。県の担当者は「病院や自治体の調査報告を踏まえ、今後の対応を検討する」と説明している。

患者が性的虐待を受けていた問題が発覚し、記者会見で謝罪する国立病院機構大牟田病院の川崎雅之院長(中央)ら＝2日、福岡県大牟田市



患者性的虐待で院長謝罪

国立大牟田病院「管理体制の不備」

障害のある患者への性的虐待が発覚した国立病院機構大牟田病院(福岡県大牟田市)は2日、就寝中に下半身を触るなどの行為があったほか、乱暴に患者を扱ったり怒鳴ったりする事例もあったと明らかにした。川崎雅之院長は記者会見で「虐待は管理体制の不備で生じた。ご心配とご迷惑をおかけして誠に申し訳ない」と謝罪した。県警は1日、病院関係者に事実関係を確認した。病院によると、虐待は遅

くとも2021年ごろからあったとみられる。昨年12月に1人から被害申告があり、職員に聞き取りをした結果、計11人の患者に、看護師や介護士の男性職員5人が虐待をしていた疑い

患者が住民票を置く自治体が調査し、これまでに男女6人の被害を認定。入浴時に陰部を刺激したり、脇の下をくすぐったりする行為が確認された。

主に職員が少ない夜間、患者に1人で対応する際に虐待行為が確認され、川崎院長は「スキップだったと言っている職員もいる。通常の医療行為と考えるといた可能性がある」と話した。

病院は外部専門家をつくる第三者委員会を設置し、再発防止策などを検討している。

2024.5.7

「おい、なんでこぼすんだよ」「すいません…」「すいませんじゃねえよ。日本語わかんねえのか？ オラ！」

昨年夏に放送されたNHKのETV特集「ルポ死亡退院 精神医療・闇の実態」で、東京都八王子市の精神科「滝山病院」の看護師らが、患者を暴行する様子が内部映像や音声で明らかになった。冒頭のやりとりはほんの一部だが、看護師らの言葉は書くのもはばかられるほど暴力的で、人権意識が著しく欠けていた。この病院では入院患者を暴行したとして看護師ら5人が逮捕や書類送検された。

昨年、参加したシンポジウムで、取材班の1人に話を聞く機会があった。その女性ディレクターは「事件は氷山の一角」と言い、「知的障害者施設や筋ジストロフィーの病棟、高齢者施設など、どこでも根を同じくするような問題が起きている」と警告した。

射程 病院内虐待が問うもの

国立病院機構大牟田病院（福岡県大牟田市）で、障害のある患者への性的虐待が発覚した。看護師や介護士の男性職員5人が、計11人の患者に虐待をした疑いがあるという。病院によると、職員は就寝中の患者の下半身を触ったり、おむつ替えの時に女性患者の下半身を長時間観察したり、男性患者を辱めるような行為や言葉かけをしていた。「スキンシップだった」と話している職員もいるという。病院の記者会見の中継を見ていて、問題の根の深さに暗然たる気持ちになった。

障害や病気などもあって自ら声を上げることが難しい人たちがいる。家族もお世話をしてもらっているという遠慮があるだろう。今回の問題を一病院での出来事と矮小化せず、社会全体で議論すべきだ。虐待を防ぐための監視カメラ設置や、患者の声を第三者が定期的に聞くなど外部からの目の届く仕組みづくりを検討してもらいたい。

（田端美華）